



中部大学春日丘高校

## 平成29年度 第2回運営指導委員会

### /国際コース活動報告会 同時開催

#### ● 運営指導委員会の開催

SGH指定校は校外に運営指導委員を委任することが定められています。本校では春日井市の企業、行政機関、教育機関などに運営指導委員をお願いし、取組について報告し、ご助言をいただいています。3月10日（土）には本年度第2回の運営指導委員会を開催しました。

#### ◆ 日時

3月10日（土） 11:00～12:00

#### ◆ 出席者

運営指導委員 4名

CKD株式会社

青年海外協力協会

春日井市教育委員会

春日台特別支援学校

本校職員 9名

河川 悟 委員

佐々木 学 委員

山田 勝史 委員

椎葉 林蔵 委員



#### ◆ 運営指導委員会議事内容

##### 1 校長挨拶

##### 2 平成29年度 SGH報告（SGH推進部主任：星野）

- ・3年間の流れ、カリキュラムの特徴を紹介。

##### ・トピックス

今年度初めてインドネシアでホームステイを実施。今後も続けたい。

国際コース英検2級以上取得率向上。

SGHで作成した論文やSGH活動履歴を元にAO入試に挑戦し合格。

- ・生徒インタビュー上映

「SGHで印象に残っていることは？」「SGHは何のためにしていると思う？」「今後どんなことをしたい？」などを生徒たちにインタビューしまとめた映像を紹介。

### 3 平成30年度 SGH事業計画

- ・予算縮小のため海外研修参加生徒数を検討。
- ・SDGs 春日井環太平洋グローバルミーティング開催。
- ・社会科や英語の授業でも課題探究や発信の練習をしていきたい。

### 4 ご指導及びご助言

- ・生徒たちの自己評価が低いことが気になった。例えば出川哲郎。英語はめちゃくちゃだけどコミュニケーション能力抜群。今後はそういう人がグローバルで活躍するのでは。あてがわれたプログラムよりも突然のハプニングにどう対処したか、そういう方が学びになる。(椎葉委員)
- ・中学校でも先生たちのモチベーションが課題。しかし2年、3年やっていくと生徒の変化を見ることができるのでやる気になる。(山田委員)
- ・インタビューで女性が多いのはなぜ？(河口委員)  
→国際コースは女子生徒が多い。また、国際関係に積極的な生徒も女子の方が多い。
- ・コースによってカリキュラムが違うのはなぜ？(河口委員)  
→国際コースの子は元々国際に興味がある生徒が多いこともあり、国際コース中心に今進めている。しかし本当は進学コースにもっと力を入れたい。高大一環コースもあるので、中部大ともっと連携しながら実施するのが理想。
- ・協力隊も女性が多い。6:4くらい。(佐々木委員)
- ・保護者の反応は？(佐々木委員)  
→まだアンケートは取れていない。
- ・SDGsを授業に取り上げるとき、まずは地域のこと、日本のことについて取り上げるといいのでは？世界をいきなり考えるのは遠い。(佐々木委員)
- ・来年度から、小学校3年生から外国語活動、5年生から英語科。英語力よりコミュニケーション能力、異文化理解重視。担任の先生(ほとんど英語の免許を持っていない先生)が実施。また、全小学校にALT配置。(山田委員)

終了後、同時開催していた国際コース活動報告会をご見学いただきました。

お忙しい中長時間に渡りご参加いただきましてありがとうございます。いただいたご助言を元にさらなる活動の充実を目指します。

## ● 国際コース SGH活動報告会

### ◆ 日時

3月10日(土) 11:00~12:20



教科「SGH」では1年次にグローバル課題についての基礎を学び、その後4領域(国際開発/国際ビジネス/環境・エネルギー/医療・福祉)に分かれ、各自が設定したテーマを元に研究を進めていきます。

国際コース2年の生徒たちは、これまで研究してきたテーマについてグループ毎に発表をしました。

テーマは「インドネシアの電力事情の改善」「CoCo 壺番屋がベトナムに進出していないのはなぜか?」「気温上昇によるホッキョクグマへの影響」「日本・スウェーデン・インドネシアの医療比較」など多岐にわたりました。国際・啓明コースの1年生たちは発表を聞き、来年度の活動のイメージをつけることができたと思います。

また、校外学習などでお世話になった方々をゲストとしてお招きし、生徒の発表を聞いていただきました。わざわざ足をお運びいただいた皆さま、ありがとうございました。